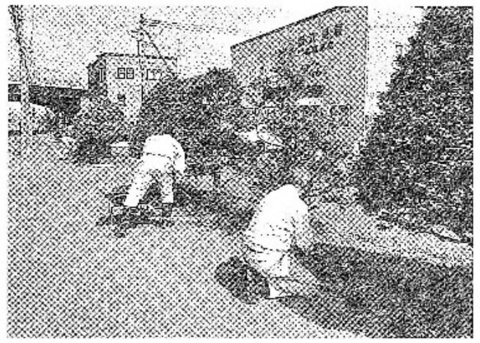


市白石区に構える支店前の緑地帯にマリーゴールドな

の一環。地域の環境美化に貢献した。

支店周辺の美化活動として「日頃からお世話になっている地域への恩返しができれば」と開始した取組はことしで14年目を迎えた。

この日は、支店の全職員5人で、用意した黄色やオレンジ色、赤色など鮮やかに咲いたマリーゴー

窓、園庭遊具など清

三共電気 旭川の幼稚園

【旭川発】三共電気工業㈱（札幌、萩本哲夫社長）は15日、旭川市内の学校[illegible]人旭川カトリック学[illegible]みその幼稚園[illegible]ア活動を行った。高[illegible]車を活用し、窓や屋[illegible]字架など、職員の手[illegible]にくい個所を中心に清掃[illegible]写真＝。地上部では園庭遊具の汚れを丁寧に拭き取り、園内の環境美化に貢献した。

[illegible]は2012年に留萌[illegible]留萌道留萌[illegible]設置は[illegible]施工した経緯か[illegible]に留萌市と旭川[illegible]系列幼稚園の清掃ボランティア活動を実施。以来、6年間継続して幼稚園の清掃に取り組んで

ンドを整備した＝写真＝。草刈り後に整正・転圧作業を実施し、生徒たちが安心して快適に運動できる環境を整えた。

同事務所では毎年、地域に密着した社会貢献活動の一環として、運動会開催前のこの時期に、同校グラウンドを整備している。

を使用して、整正・転圧した。正午ごろには作業が完了。冬期間で発生した凹凸をきれいにならし、生徒たちが安全に運動できる環境に整えた。

中根所長は活動について「整備されたグラウンドでけがなく安全に運動会等の行事に取り組んでもらえたら」と話した。

安全・快適に利用して

北建舗道 市道清掃活動

【留萌発】㈱北建舗道（留萌、野崎寿社長）は12日、留萌市内のヲムロ通りで清掃活動を行った＝写真＝。同社と協力会社の役職員25人が参加。ごみの回収や草刈りのほか、車道路側帯の汚泥撤去、散水車による清掃など地元住民が安全・安心、快適に道路を利用できるよう環境を整えた。

ヲムロ通りは国道232号と道道留萌小平線を結ぶ市道。不法投棄が後を絶たず、路上や道路沿いの茂みには多数のごみが散乱していた。

同社は、同路線を資材搬入時などに使用していることから「地元住民にとって快適な道であってほしい」と考え、清掃活動を開始。ことしで22年目を迎えた。

この日は、同社と協力会社の役職員25人が参加した。約1・3㌔の道路と沿線のごみを回収したほか、歩道と路肩の草刈りを行った。

また、車道路側帯の汚泥除去、散水車による清掃を実施。道路沿いに不法投棄禁止を呼びかける看板を8基設置するなど市民が快適に利用できるよう環境を整えた。

デイライト点灯など要請

西岡建設 交安街頭啓発

【帯広発】西岡建設㈱（帯広、西岡正興社長）は17日、本社社屋前の国道38号沿いで交通安全街頭啓発運動を実施した＝写真＝。地域貢献活動の一環として、同社と協力会社の役職員約40人が参加。安全旗を手に、道行くドライバーにデイライト点灯やスピードダウンを呼びかけた。

同社の交通安全街頭啓発運動は、春と秋の全国交通安全運動の期間に合わせて実施しているもの。14年目を迎えた今回は同社と協力会社から約40人が参加した。

活動に先立ち、西岡社長は「雪が解けてアクセルに力が入り、スピードが出ているように見える。旗を振ってスピードダウンや交通安全を伝えたい」とし「業界としても事故を起こさないという決意を持って活動に当たってほしい」と呼びかけた。

このあと、参加者は本社社屋前の国道沿いに並び「デイライトの実施」「シートベルトの全席着用」などと書かれた安全旗を振って、道行くドライバーに安全運転を呼びかけた。

児童が最新の船内確認

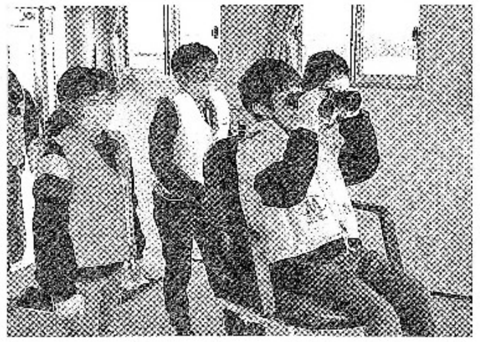
藤建設 起重機船等の見学会

【稚内発】藤建設㈱（稚内、藤田隆明社長）は16日、稚内市立稚内港小学校の5・6年生約20人を招き、稚内港で起重機船「ふじFC―26」と押船「第十ふじ丸」の見学会を実施した。普段は入ることができない船員室や操作室などを回りながら、最新システムが導入された起重機船の役割について理解を深めた。

市内港地区に本社を置く同社は、近隣地域に対する貢献活動の一環として、同校に完成したばかりの起重機船等の見学会を提案した。

この日は、同校の5・6年生約20人が参加。藤田社長は児童に対して、新たに完成した起重機船の特徴などを説明した上で「貴重な機会だと思う。楽しく学んでほしい」などと呼びかけた。

このあと、社員が先導し、4グループに分かれて船内を見学。児童は「部屋は全部で何部屋あるんですか」などと積極的に質問を投げかけた。



キャプテンシートからの景色を楽しむ児童

ふじFC―26の操作室の見学では、船長しか座ることができないキャプテンシートに1人ずつ着席。特別な景色を楽しんだ。

安全な教育環境を提供

三ッ輪建設工業 校庭整備

【釧路発】三ッ輪建設工業㈱（釧路市、髙橋政史社長）は17日、釧路市立光陽小学校でグラウンド整備を実施した＝写真＝。地域貢献活動の一環として行ったもので、社員7人が参加。児童たちが安全に利用できる教育環境づくりに努めた。

同社は地域に根差す企業として毎年、隣接する同校のグラウンド整備を実施。雪解け後の傷んだ地面をならしている。

作業には、社員7人が参加。ダンプトラックで土を搬入し、タイヤショベルでグラウンドに敷きならし、タイヤローラとグレーダで凸凹を整正した。

併せて、駐車場を整備。転圧等をかけて整正したほか、校舎裏の第2駐車場は搬入した砂利で整備した。

作業を指揮した佐久間欣市土木部工事担当部長は「子どもたちには安全な環境で、元気いっぱいに活動してもらいたい」と話した。

建設業7件増11件

岩見沢労基署 4月末の労災

【岩見沢発】岩見沢労基署は、4月末現在の労働災害発生状況（速報値）を公表した。

全て休業4日以上の労災で、建設業は前年同期比7件増の11件。死亡災害は発生していない。

内訳は、土木工事業が4件増の6件、建築工事業が4件増の4件、設備工事業が前年同数の1件となっている。

道通ビル 入居者募集
貸事務所、貸店舗
第一、第二、第五道通ビル。札幌駅より徒歩三分。道庁に至近。冷暖房、立体駐車場、地下に飲食店街があります。二階以上一貸事務所。一階貸店舗、委細面談。
お問い合わせは
北海道通信ビル株式会社
札幌市中央区北五条西六丁目
電話（〇一一）222－三三一六番
http://dotsu-bldg.net

デイライト点灯など要請
西岡建設 交安街頭啓発
【帯広発】西岡建設㈱（帯広、西岡正興社長）は17日、本社社屋前の国道38号沿いで交通安全街頭啓発運動を実施した＝写真＝。地域貢献活動の一環として、同社と協力会社の役職員約40人が参加。安全旗を手に、道行くドライバーにデイライト点灯やスピードダウンを呼びかけた。
同社の交通安全街頭啓発運動は、春と秋の全国交通安全運動の期間に合わせて実施しているもの。14年目を迎えた今回は同社と協力会社から約40人が参加した。
活動に先立ち、西岡社長は「雪が解けてアクセルに力が入り、スピードが出ているように見える。旗を振ってスピードダウンや交通安全を伝えたい」とし「業界としても事故を起こさないという決意を持って活動に当たってほしい」と呼びかけた。
このあと、参加者は本社社屋前の国道沿いに並び「デイライトの実施」「シートベルトの全席着用」などと書かれた安全旗を振って、道行くドライバーに安全運転を呼びかけた。

十勝・釧根・北網

ニュースのお知らせは
最寄りの支社局

帯広支社
☎0155(22)0401
FAX(28)2519

釧路支社
☎0154(41)3832
FAX(44)2065

北見支社
☎0157(23)4666
FAX(66)2175

網走支局

22年度実績

オホーツク土木3官庁

工事受注5%減、384億円

トップは西村組

【網走】オホーツク管内土木3官庁（網走開建、網走建管、オホーツク総合局調整課）の2022年度業者別工事受注実績が本紙集計でまとまった。前年度と比べ9者少ない143者が、5・6%減の384億2854万円を受注。管内業者のシェアは89・2%で1・6ポイント縮小した。西村組が18年度から5年連続で首位となった。

落札額を税抜きで集計し、設計変更分は含まない。21年度のゼロ国債やゼロ道債、翌債などは全額を、多年度債は22年度支払い分をそれぞれ計上。共同体は出資比率で分配した。

発注機関別では、総合局調整課のみ発注額が4・1%増の94億2924万円と前年度を上回った。開建は10・3%減の180億4859万円、建管は5・3%減の109億5070万円となり総額は減少した。

西村組は受注件数も13件とトップだった。21年度末時点で3官庁全てから翌債などを請け負い、9件、21億9860万円で件数、金額ともに首位でスタート。サロマ湖漁港ほか1港アイスブーム補修その他を4億6800万円で単独受注した。

2位の丸田組は13件を獲得して20億円台に乗せた。238号湧別町川西南改良など土木12件のほか建築の常呂漁港水産物供給基盤機能保全を請け負い、前年度から順位を2つ上げた。

地域別で見ると、
業者のみ受注額が減
99者が総額の9割に
る342億572
を積み上げたが、7
%、26億8491万
マイナスで、シェア
退した。

管外業者のうち道
受注額は30億498
円で4%増え、シェ
7・9%となり0
拡大した。道外は落
事がポンプ設備据え
を複数落札した影響
31・4%増の11億2
0万円、0・8ポイント
・9%と伸びた。

オホーツク管内土木3官庁2022年度
業者別工事受注実績・上位20者
（金額・単位千円）

	業者名	所在地	件数	金額
1	西村組	湧別	13	2,653,600
2	丸田組	網走	13	2,186,300
3	早水組	網走	12	1,387,950
4	渡辺組	遠軽	9	1,314,930
5	松谷建設	北見	11	1,290,182
6	五十嵐建設	北見	6	895,360
7	三和工業	北見	9	875,560
8	土屋工業	網走	6	867,639
9	水元建設	北見	6	844,800
10	そうけん	網走	7	839,968
11	北辰土建	北見	6	822,700
12	南建設	網走	6	816,930
13	斜里建設工業	斜里	6	782,110
14	北方建設産業	紋別	9	760,791
15	大同産業開発	遠軽	4	729,550
16	村井小泉建設	北見	8	672,063
17	荏原商事	東京	4	640,139
18	興和建設	北見	5	630,350
19	芙蓉建設	美幌	5	602,610
20	藤共工業	興部	9	564,670

農道集落道　別海の上風連北

24年度に舗装1600mで完了

根室振興局農村

【釧路】根室振興局農村振興課は、農道集落道整備高度化型上風連北地区の2024年度完了を目指している。23年度は22年度予算の繰り越し分を含めて改良1580メートル、舗装600メートルを実施。24年度の残事業費は約1億6000万円で、舗装1600メートルを施工する。

別海町南部に位置する上風連一帯は、広大な草地を背景に大規模な酪農経営が展開されている。道道上風連奥行線から分かれて南へ直進する農道が対象。

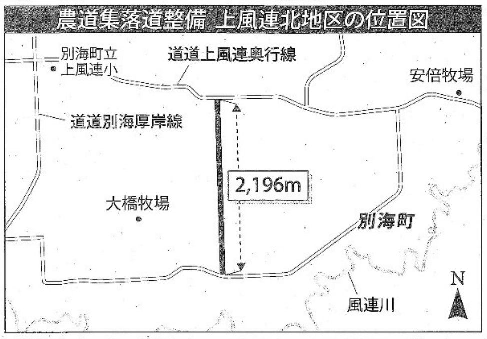
未舗装のため降雨時や融雪時はぬかるみやすく、通行に支障を来している。大型車両の通行で凹凸が生じることもあって維持管理の手間がかかり、周囲の農作物に砂ぼこりがかかる被害もある。

同事業で延長2196メートル区間を対象に改良・舗装を施し、物流高速化や砂ぼこりの防止、管理の省力化を図る。2019―24年度の事業として採択された。受益面積は210ヘクタール、総事業費は6億3040万円。

道路本体は造成幅員6メートル、車道幅員4メートル、構造は凍上抑制層62センチ、下層路盤20センチ、上層路盤5センチ、表層の密粒度アスコンが3センチで計画。本体の両脇には排水を考慮して張り芝側溝を設ける。

23年度工事は改良を高玉建設工業が1億3720万円でこのほど落札。舗装を6月21日に入札する。これらにより本体改良と側溝整備は完了する。

農道集落道整備 上風連北地区の位置図



東北海道商議所連絡協が会

物流網維持など要望事項

あいさつをする川田会長

【釧路】道東9地区の商工会議所で構成する東北海道商工会議所連絡協議会は17日、釧路センチュリーキャッスルホテルで第101回の会合を開いた。150人が参加。物流網の維持や高規格道路の整備促進など要
項を確認した。

会長を務める帯
会議所の川田章博会
「物流の維持に大き
機感を持っている。
16年の台風では、
町で橋梁が壊れて物

釧路総合局農村 22年度委託

8割増の4.7億円受注

首位は東邦コンサル

【釧路】釧路総合局農村振興課の2022年度業者別委託受注実績が本紙集計でまとまった。金額は前年度比78・1%増の4億7183万円。東邦コンサルタントが8918万円を積み上げ首位となった。

9月15日の入札を最後に発注がないため、順位、金額は上半期（4―9月）から変動なし。開札結果（税抜き）を集計し、設計変更は加えていない。

東邦コンサルタントは、畑地帯営農用水
去地区調査2や草地
白糠第3地区調査設
など4件を獲得。
ンジニアリングは畑
営農用水片無去地区
設計1を7988万
受注し2位となっ
下コンサルタントは
帯営農用水片無去地
査など3件、61
円で3位につけた。

釧路総合局農村2022年度
業者別委託受注実績・上位10者
（金額・単位千円）

	業者名	所在地	件数	金額
1	東邦コンサルタント	釧路市	4	89,180

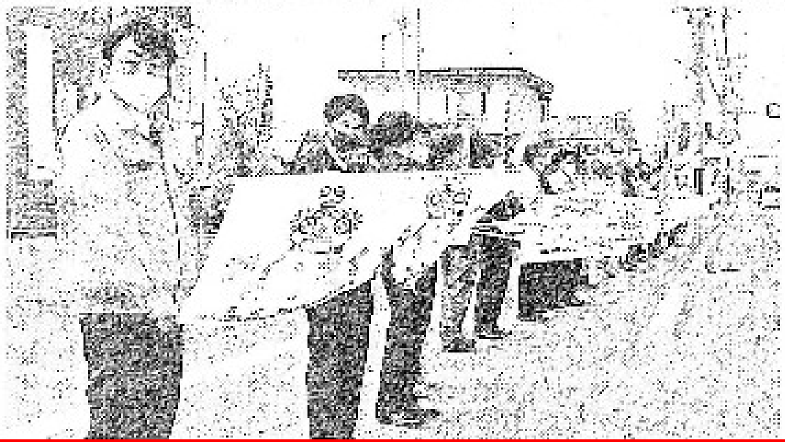
本社前の国道で交通安全啓発

西岡建設

【帯広】西岡建設（本社・帯広）は17日、本社前の国道38号で交通安全の街頭啓発をした＝写真。

毎年、春と秋の全国交通安全運動期間に合わせて実施。今回は協力会社を含め40人が参加し、ドライバーに安全運転やシートベルト着用を促した。

西岡正興社長は「春になり、走る車の速度も上がってきた。これを機に、私たち自身も事故に注意しよう」と呼び掛けた。



実施計画
査61＝北
サルタ
帯若佐外
1＝北海
団体連合
別豊住二
東和工研
部西第2
計1＝興
網走南部
設計1＝
畑地帯営
区調査設
エンジニ
豊郷2地
東亜エン
畑地帯常
地区調査
ンコンサ
帯訓子府
査設計1
▽畑地帯
査2＝イ
所▽畑地
設計1＝

北海道調査補償▽畑地帯るべしべ地区調査設計6＝みずほ栄設計

▽畑地帯安国地区調査1＝平田技術コンサルタント▽畑地帯西興部地区調査1＝ドボク管理▽草地整備幌内第2地区調査設計1＝北王コンサルタント▽国営農地換地計画津別地区用地測量2＝サン技術コンサルタント▽畑地帯網走西部川向外19地区施工管理11＝北海道土地改良事業団体連合会▽草地整備はまなす第3地区調査設計1＝扇コンサル▽畑地帯網走西部川向地区設計1＝益村測量設計▽海岸保全小清水2期地区調査設計1＝パブリックコンサルタント▽経営体女満別豊住1期外1地区設計11＝益村測量設計▽農地防災福山23号地区施工管理2＝西島製作所▽経営体女満別本郷2地区調査4＝平田技術コンサルタント▽通作条件一般開成南丘地区調査3＝東和工研▽畑地帯若佐外5地区工事数量算定12＝北海道土地改良事業団体連合会▽実施計画協栄地区設計1＝ルーラルエンジニア▽草地整備オホーツクサロマ外1地区調査設計71＝ムラコシ▽水利施設山林川地区設計61＝内外エンジニアリング北海道

◇89点▽水利施設山林川地区設計1＝ムラコシ▽畑地帯端野協和川向地区調査設計1＝カワムラ▽畑地帯北見豊郷2地区調査設計2＝カワムラ▽海岸保全東地区調査設計1＝エクサ設計▽草地整備幌内第2地区調査設計2＝サン技術コンサルタント▽国営農地換地計画津別地区用地測量1＝益村測量設計▽畑かんモデル斜里地区調査1＝北海道農業近代化技術研究センター▽畑かんモデル網走川中央地区調査1＝北海道農業近代化技術研究センター▽畑地帯営農用水津別2地区地質調査3＝大起コンサルタント▽畑地帯訓子府北東地区地質調査2＝イーエス総合研究所▽畑地帯訓子府北東地区設計3＝富士建設コンサル▽畑地帯訓子府中央一期外1地区設計11＝北海道農業建設コンサルタント▽畑地帯若佐地区設計5＝サン技術コンサルタント

▽畑地帯訓子府川南地区調査設計1＝よしだ設計コンサルタント▽畑地帯るべしべ地区調査設計4＝テクノ▽畑地帯常呂第3土佐地区設計1＝北海道調査補償▽畑地帯サロマ東部地区設計1＝協和コンサルタント▽畑地帯安国地区設計3＝協和コンサルタント▽畑地帯西興部地区設計3＝松木測量設計▽畑地帯営農用水音稲府地区調査設計3＝ドボク管理▽畑地帯営農用水音稲府地区調査設計4＝ルーラルエンジニア▽畑地帯営農用水音稲府地区調査設計5＝東日本設計▽草地整備はまなす第3地区設計2＝ダイシン設計▽畑地帯峰浜豊倉地区設計1＝益村測量設計▽海岸保全小清水2期地区設計2＝パブリックコンサルタント▽畑地帯中央美和地区地質調査2＝北杜設計▽経営体女満別本郷2地区地質調査2＝大起コンサルタント▽実施計画東幹線本郷地区設計1＝ルーラルエンジニア▽実施計画中央野崎地区設計1＝北海道土地改良事業団体連合会▽実施計画北見川南2地区設計1＝中神土木設計▽実施計画常呂第2豊川地区設計1＝北海道土地改良事業団体連合会▽実施計画端野下左岸第2地区設計1＝中神土木設計▽実施計画小清水第5地区調査設計61＝バーム測量設計▽実施計画端野協和地区調査設計61＝大道測量設計▽実施計画北見川南2地区地質調査2＝トキワ地研▽実施計画端野下左岸第2地区地質調査2＝大起コンサルタント

美幌町

建築技術職員募集　中途と新卒各1人

【網走】美幌町は、建築技術職員を中途と新卒でそれぞれ1人募集している。6月30日まで受け付け、受験者と日程調整して面接試験する。申込時に、作文と自己アピールシートの提出を求める。採用日は2024年4月1日。

受験資格は、採用後の町内居住が共通。中途は、採用時に1、2級か木造の建築士資格保有を必須とする。さらに建築課程の大学・大学校卒業後3年以内か、1983年4月2日以降の生まれで高校以上を卒業し業務経験3年以上があることを求める。新卒は、建築課程の卒業、採用後の資格取得を前提とする。

希望者は、郵送または町のホームページか総務課職員グループ窓口で申込書を取得する。作文とアピールシート、必要な証明書を添えて郵送か持参する。

問い合わせ・提出先は同グループ、電話0152（77）6527。

大江建設工業

無事故・無災害へ 社員団結し取組

【北見】大江建設工業（本社・北見）は12日、本社会議室で2023年度安全衛生大会を開いた＝写真。社員35人が参加し、無事故・無災害に向け全員で取り組むことを誓った。

開会に先立ち、村中好成社長は「まずは安全最優先を目標に、会社全体で声を掛け合って無事故・無災害を達成したい」と求めた。

講話で、北見警察署の中野耕平企画規制係長が交通安全に向けた取り組みを紹介。UDトラックス道東北見支店の平間徹整備業務課課長が7トントラックを用いて始業前点検について話した。

また若原正敏相談役と武澤宏司専務が安全について話し、事故の原因を一つでも取り除き、安全な環境を維持することを確認した。

「デロリ
た体験を
ルの可能

燃料高騰対策の推進などを承認した

湧別小型
決めたほ
を交代し
いさつで
題は20
応するこ
を賜り、
つ一つ業

績を積み重ねられれば」と話した。

議事で22年度の事業・決算報告を承認。23年度事業計画には、燃料高騰対策の推進といった経営基盤強化や輸送秩序の確立、労働環境改善による魅力ある業界づくりなどを盛った。また交通事故、労災防止に向けた安全大会や研修会の開催なども計画する。

役員改選では、新たな副会長に舛川実（北見通運）、山本勝（美咲興業）の両氏を選出。このほかの古川公晴（東森商運）、阿部秀明（上渚滑運輸）の両副会長と樋口嗣男専務をそれぞれ留任

網走建管北見出張所安全協

小石川でごみ拾い

【北見】網走建設管理部北見出張所安全協議会は14日、北見市内の小石川での清掃活動に参加し、きれいな川を守る活動に協力した。

清掃活動に協力した

同活動は、北見市が事務局を務める小石川を守る連絡協議会が運営。周辺町内会などと協力して2009年から実施している。

協議会からは会長を務める鴨下辰哉北辰土建社長ら25人、北見出張所から諏訪辺展宏所長ら9人が参加した。

小石川周辺の旧国道から常呂川築堤までの約500メートル区間で、空き缶、ペットボトルなどのごみを回収。参加者それぞれごみ袋と火ばさみを手に持ち、地域の美化に一丸となって取り組んだ。

高橋土建

安全衛生大会で ゼロ災達成誓う

【北見】高橋土建（本社・佐呂間）は12日、同社機材センターで春季安全衛生大会を開いた＝写真。2023年度のゼロ災害達成に向け、関係者が一致団結して安全活動に取り組むことを誓った。

30人が参加。はじめに佐呂間神社で安全祈願祭をし、安寧と働く者一人一人の健康を願った。

安全大会で高橋光貴社長が「慣れやマンネリなどが労災を誘発する要因になる。基本に立ち返り、急がず、焦らずに安全確認をしてから作業を」と呼び掛けた。

高橋紀久専務は23年度安全衛生計画を説明。事故事例を挙げて安全対策の徹底を促した。

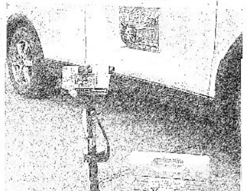
続いて労災・交通事故防止ビデオを視聴。全
で安全スローガンの一
める意識と安全行動
こうみんなのゼロ災
場」を復唱し、大会を
めくくった。

運動を実施する予
れて作業した
も110番の車」活動
AEDを活用した緊急
の救命活動を継続する

理

応援

スタート
、ことし
。
トロール
やパンク
み巡回。



ーを貼った車両で周知する

サイクリストが気付きやすいように、車両側面にステッカーを貼っている。宿泊施設や観光名所の紹介もしている。

辻谷智之委員長は「車両を見かけたら気軽に声をかけてほしい。一人でも多くの人に道東の魅力を知ってもらいたい」と話した。

大樹SC無

コープさっぽ

【帯広】大樹町商工会は、大樹ショッピングセンター
っぽろ
に無償譲
方向で協
議を進めて
る。大規模
改修に向けた費用の積み立て不足などが背景となっている。連結する道の駅と町経済センターは、これまで通りの運営を続ける方針だ。

同施設は、町民が交流できる中心市街地活性化の起爆剤とするため2002年に建設した。S造、平屋、延べ2942平方メートルの規模。国道236号沿いの西本通98にある。水回りや床の老朽化が進んでいて、建設当時のままの外壁や屋根は大規模改修が必要となる。

コープさっぽろは同ショッピングセンター内で「コープさっぽろたいき店」を運営。町商工会は、

帯広開建道路維持連絡協が総会

高堂会長ら全役員

【帯広】帯広開建所管の国道維持業者で組織する帯広開建道路維持連絡協議会は17日、市内の十勝ガーデンズホテルで2023年度総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で、高堂匠美会長ら全役員の留任を決めた。

あいさつで高堂会長は「われわれの使命は、地域の安全安心を守ること。気を引き締めて作業をしよう」と呼び掛けた。

議事で23年度事業計画案など全議案を承認。7月ごろに帯広開建との意見交換会、全道一斉の交

気を引き締めるよう呼び掛ける高堂会長

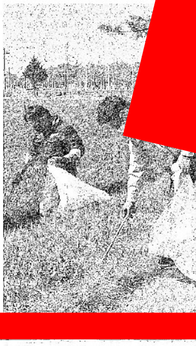
音更建協 クリーン作戦に協力

道道4kmで清掃活動

【帯広】音更建設業協会は13日、町内行事のクリーン作戦に協力した。18人が参加。4トントラックを2台用意し、道道帯広浦幌線の約4キロでごみ拾いを展開した。

あいさつした高橋勇雄会長は「観光客も回復傾向で、ごみはなかなか減らない。作業を通じて、今後もきれいなまちづりに貢献しよう」と呼び掛けた。

2班に分かれて作業
4トントラック2台で町
のごみ回収に協力した
町は毎年、一斉クリーンアップの日を定め、春と秋に町内会や企業・団体による清掃活動をしている。



大樹町副町長選任（18日）

▽大樹町＝松木義行（農林水産課長兼大樹町営牧場長）就任18日

本社前の国道で交通安全啓発

西岡建設

【帯広】西岡建設（本社・帯広）は17日、本社前の国道38号で交通安全の街頭啓発をした＝写真。

毎年、春と秋の全国交通安全運動期間に合わせて実施。今回は協力会社を含め40人が参加し、ドライバーに安全運転やシートベルト着用を促した。

西岡正興社長は「春になり、走る車の速度も上がってきた。これを機に、私たち自身も事故に注意しよう」と呼び掛けた。